

小学生版

あたらしい児童書 NO. 226 2020. 9. 5

遠軽町図書館
遠軽町大通南4丁目
TEL42-3632
FAX49-2102

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

<p>『そのときがくるくる』 作/すす きみえ ・誰にでも嫌いなものってあるよね。きみはどう？ ぼくにはあるよ。どうしても食べられないもの。おじいちゃんは「今は嫌いでも、いつかきっとおいしく食べられるときがくるさ」っていうけど…。(小初)</p>	
<p>『おじょうさま小学生はなこ VSりんじのしいくがかり』 川之上 英子 ・プライドが高く世間知らず、ちょっぴりぬけてるおじょうさま「はなこ」が、友だちや家の人にささえられながら、小学校生活をいきぬくコミカルストーリー。「はなこVSりんじのしいくがかり」など、2つのお話を収録。(小初)</p>	
<p>『区立あたまのてっぺん小学校』 間部 香代/作 ・始業式の時、頭の上に何かを感じた。トイレで鏡を見たら、頭の上に小さな学校が！「頭、どうした？」って友だちに聞かれたけどわからない。ぼくたちは区役所に行って相談することに…。個性の大切さを考えるユーモア読み物。(小初)</p>	
<p>『歌がにがてな人魚』 ルイス・スロボドキン/作 ・金色の長い髪をしていて、甘く澄んだ声で歌をうたうのが人魚？ もちろんそうなのですが、ひとりだけ、そうではない人魚がいて…。歌の「にがて」な人魚が意外なところで大活躍？ とおい海の底の人魚の学校のお話。(小初・小中)</p>	
<p>『ゆうれい猫と魔術師の少年』 廣嶋 玲子/作 ・交通事故で死んでしまったゆうれい猫ふくこさんは、団子町の人々を幽霊となった今も見守っている。ある夜、甘い香りに誘われてある家に辿り着き、吸い寄せられるように白い大きな紙の上に座ると…。(小中)</p>	
<p>『ルビねこと星ものがたり』 作/野中 柊 ・白ねこりのアンティーク家具屋〈ねこの森〉で、はじめて望遠鏡をのぞいてみた〈本屋 本の木〉の看板ねこルビ。その夜、ふたりが見つけた、とくべつな星—ルビの勇気をふるい起こしてくれる星座とは…。(小中)</p>	
<p>『ふしぎ駄菓子屋銭天堂 13』 廣嶋 玲子/作 ・その駄菓子屋は、幸せと不幸のわかれ道。女主人・紅子が、きょうもお客さんの運命を駄菓子で翻弄する。「スクープクレープ」「先取りメガネ」など、駄菓子屋「銭天堂」を舞台にした不思議なお話全7編を収録。(小中)</p>	

<p>『妖怪たちと秘密基地』 富安 陽子／作</p> <p>・雑木林の奥で、伝説の妖獣ヌエの子どもがいる巣を見つけた妖怪3きょうだい。ところが、人間の子もたちも巣を見つけ、自分たちだけの秘密基地にしている…。だれも知らない秘密の夏が始まる！ ユーモア・ホラー。（小中、小上）</p>	
<p>『ロウリーのいい子日記』 ジェフ・キニー／作</p> <p>・一番仲良しのグレッグがやっているから、ボクも日記をつけることにしたよ！ でもグレッグに「パクリだ」と言われて…。すごくダメな少年グレッグの親友ロウリーの日記。「グレッグのダメ日記」からとびだした新シリーズ。（小中、小上）</p>	
<p>『やがらす魔道具店と黒い結末』 田丸 雅智</p> <p>・悩みを抱えた、子どもや大人たち。彼らの前に忽然と現れるどこか不気味な店主と、彼が差し出す不思議な道具…。ショートショート作家・田丸雅智が描く、ちょっとダークで奇妙な味わいの10編の連作短編集。（小中、小上）</p>	
<p>『十年屋 4 ときどき謎解きいたします』 廣嶋 玲子／作</p> <p>・大切なものを10年間、魔法で預かる不思議なお店「十年屋」。そこには、魔法使いと執事猫のカラシがいます。中には思いがけない依頼もあって…。『銭天堂』の著者がおくる、心あたたまる物語。（小上）</p>	
<p>『はじまりの夏』 吉田 道子／作</p> <p>・小学5年生のぽぷらは、母親とふたり暮らし。相棒は、ハムスターのエンゲル。ある日、母親が突然、「相棒がほしい」と言い出した。次の日…。ふたつの家族がひとつになるさまを通して、命のあたたかさを描く。（小上）</p>	
<p>『秘密のノート』 ジョー・コットリル／作</p> <p>・モノマネが得意で、人を笑わせることが大好きな、クラスのお調子者ジェリー。けれど、彼女には大きな悩みがあり、心のさけびを“秘密のノート”に綴っていて…。悩める少女の、ちょっと切ないエンターテインメント。（小上）</p>	
<p>『サンドイッチクラブ』 長江 優子</p> <p>・夏休み、小学6年生の珠子は、無心に砂像を作るヒカルと出会う。強烈な個性をもち、成績もトップクラスのヒカルは「戦争をなくすためにアメリカの大統領になる」と言い…。新たな世界に向きあっていく少女たちの成長物語。（小上）</p>	
<p>『震える叫び』 R.L.スタイン</p> <p>・本当に怖いお化け屋敷、アイスクリームを食べ続けた代償、永遠に降りられない特急列車…。21人の作家が、絶叫から始まる、もしくは絶叫で終わる物語をくりひろげる。米ホラー&ミステリー作家の競作集。（小上、中）</p>	